

第1学年 道徳学習指導案

日 時 平成27年11月17日(火) 6校時

場 所 1年1組教室

学 級 1年1組(男子17名 女子16名 計33名)

指導者 小野寺 結城

1 主題名 誠実な生き方【1-(3) 自主自律、誠実と責任】

2 資料名 「デンさん」(明日をひらく・東京書籍)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

学習指導要領では1-(3)を「自律の精神を重んじ、自主的に考え、誠実に実行してその結果に責任をもつ。」としている。自ら考え、判断し、実行し、自己の行為の結果に責任をもつことが道徳の基本である。したがって、深く考えずに付和雷同したり、責任を他人に転嫁したりするのではなく、自らの規範意識を高め、自らを律することができなければならない。

中学生の時期は、自我に目覚め、自主的に考え、行動することができるようになる。しかし、一方では自由の意味をはき違えて奔放な生活を送ったり、周囲の思惑を気にして他人の言動に左右されてしまったりすることも少なくない。また、自分自身にかかわる行為が自分や他人にどのような結果をもたらすかということを深く考えることができない面も見られる。

良い行為とは、自分にとっても他人にとっても良い行為である。そこで、自分や社会に対して常に誠実でなければならないことを自覚し、人間としての誇りをもった、責任ある行動がとれるようにすることが大切である。

(2) 生徒について

これまでの学校生活の中で、それぞれの行動が有機的につながりを持ち、その結果として学級や集団が向上していくということを学んできた。自分の役割に責任をもち、集団のために誠実に取り組める生徒も見られる。しかし、一方では容易に楽な方を選択したり、無責任に他人任せにしてしまう生徒も多い。

資料から、より良く生きるためには自分自身を律する力が大事であることや、そうした誠実な生き方が社会を支え、人間関係を円滑にするということを自覚できるようにしたい。

(3) 資料について

デンさんは中学校を卒業してから、母のやっている駅の売店で働いている。決して恵まれた境遇にあるとは言えないが、暇な時間には自主的に駅の周辺の草むしりやそうじをしている。また、駅の利用者のために忘れ物を取りに行く、地図を作る、預かり物をするなど、デンさんの行為は町の人々のためになるものばかりで、いつも周りから親しまれ、愛されており、デンさんはいつも明るく楽しそ

うな表情をしている。そうした生き方から、誠実な行動の大切さについて考えることのできる資料である。

(4) 本時の指導

前半では、デンさんの置かれた状況を読み取りながら、それでも悲観することなく母の仕事を手伝う姿を捉えさせたい。一見すると不幸な境遇にも見えるが、その中でデンさんが自分で考え、行動したことが人のためになり、そして自分自身が明るく過ごすことにつながっていることに気づかせたい。さらに、後半では事前のアンケート結果などをもとに資料から現実の生活に視点を移し、自分たちも他人のために行動ができることやそれが自分自身の成長にもなることに気づかせ、誠実な行動をしようとする心情を養いたい。

4 本時の指導

(1) ねらい

目先のことにとらわれず、常に自主的に考え、誠実に実行することにより、生きがいのある生活を追求しようとする態度を育てる。

(2) 学びあいとのかかわり

次のように「作業的な活動」、「小グループでの学びあい」、「表現の交流」を取り入れ、授業を展開していく。

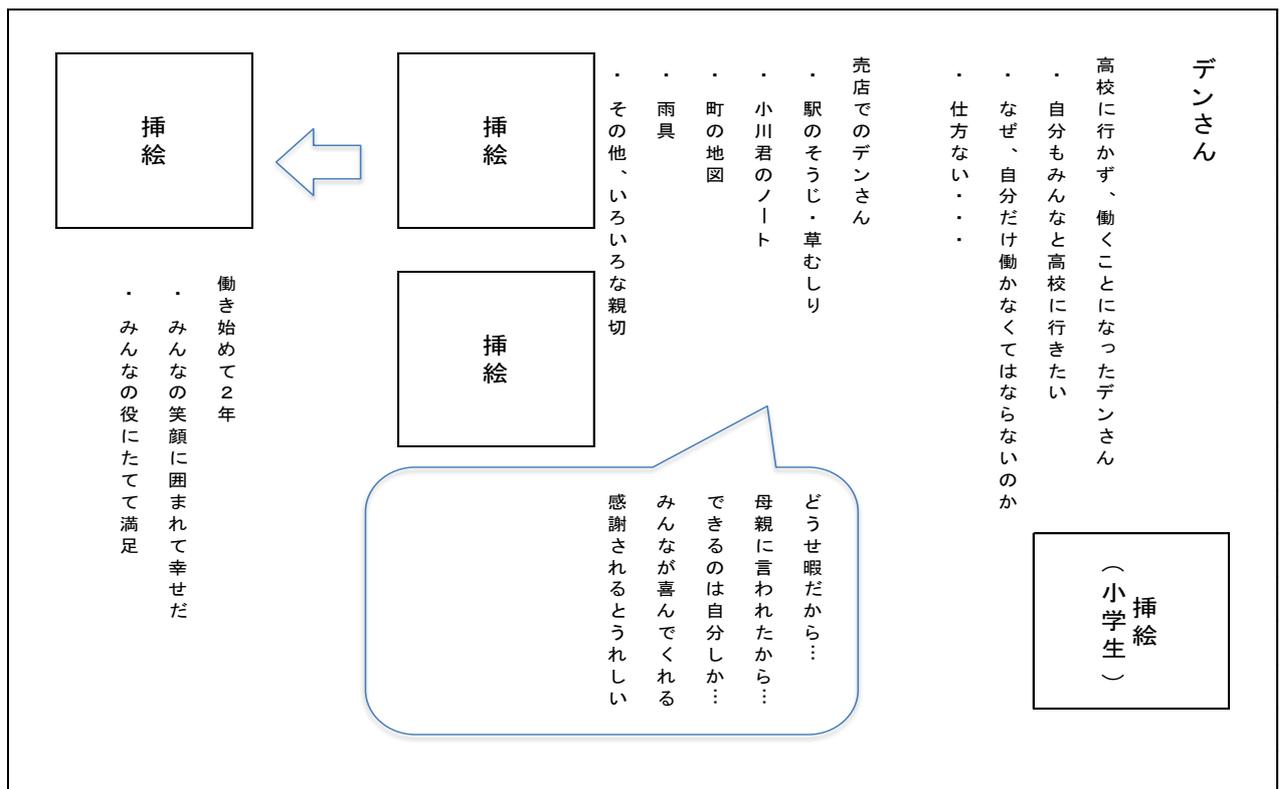
- ① ワークシートを利用して個人の考えをまとめる時間をとる。
- ② 4人グループを活用し、さまざまな視点からの意見を交流し、自分自身の考えを深められるようにする。

(3) 展開

	学習活動	予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	1. 事前アンケートの結果を提示する 「あなたの考える理想的な人生とはどんなものですか」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日笑顔で生活できる ・ 裕福に暮らす ・ 夢や目標を実現する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ さまざまな考え方があることを確認する。 ・ 紙板書を利用する。
展開 30分	2. 資料「デンさん」を読んで話し合う ① 高校に行かずに働くことになったデンさんはどんな気持ちだっただろう ② デンさんが仕事以外のことで嫌	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分もみんなのように高校に行きたい ・ なんで自分だけ働かなければならぬのか ・ 何かできるのは自分しかいない 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料範読 ・ デンさんは決して裕福ではなく、恵まれた境遇ではないことを確認する。 発問・紙板書・一斉 ・ 感謝されることが喜びとなって、他

	<p>な顔をせず、他人のためにいろいろな行動ができたのはどんな気持ちからだろう</p> <p>③ デンさんは今の生活をどのように思っているのだろうか</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 喜んでくれる顔を見るとうれしい ・ みんなが笑顔で接してくれて幸せだ ・ みんなの役に立てる毎日に満足している 	<p>人になっていることが自分のためと なって帰ってきていることに気づ かせる。</p> <p>発問・紙板書・一斉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分自身の誠実な行動で、与えられた環境が幸せなものになることに気づかせる。 <p>発問・紙板書・一斉</p>
終 末 1 5 分	<p>3. 感想をシートにまとめる</p> <p>「デンさんの生き方や他の人の意見からどのようなことを考えたか、自分の経験を踏まえて書いてみよう」</p> <p>4. 教師の説話</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の実生活とも結びつけながら、誠実に行動をすることの大切さに気づかせたい。 <p>ワークシート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ グループでの交流を行い、新たに考えたことなどもワークシートに記入させる。 ・ 本時の価値を印象付け、今後の生活における実践力の高まりを図りたい。

(4) 板書計画



資料分析表

デンさん 1-(3) 自主自律、誠実と責任

場面	主人公の意識	生徒の反応	意識の焦点化	発問
<p>中学校を卒業し、高校には進まずに母の売店で仕事を手伝うことになったデンさん</p>	<p>しかたないとは思いつつも、毎日高校に通う友達を見送っていると、自分との境遇の違いを感じる。</p>	<p>・高校に行けず、働くのはかわいそう</p>	<p>恵まれた境遇ではなく、きゆうくつそうに大人しく座って働いているデンさんの状況を確認する。</p>	<p>高校に行かずに働くことになったデンさんは、どんな気持ちだっただろう</p>
<p>草むしりやそうじなどの奉仕活動をしたり、忘れ物をとどけるなど思いやりの行動をとるデンさん</p>	<p>母に言われた言いつけを守ってはじめた親切な行動が周りから感謝され、満足間を感じる。自分で次々と親切を思いつき、実行するたびにみんなのためになる親切をしていくことの喜びを感じるようになる。</p>	<p>・やらなくて良いといわれても笑顔を返しながら奉仕活動が続けるのがすごい ・忘れ物を頼まれても嫌な顔をしないところがすごい ・みんなのために苦勞を喜んでできるところがすごい</p>	<p>多くの人に感謝をされることが自分の喜びややりがいにつながり、デンさん自身が笑顔で生活できることにつながっていることを理解させる。</p>	<p>デンさんが仕事以外のことでも嫌な顔をせず、他人のためにいろいろな行動ができたのはどんな気持ちからだろうか</p>
<p>売店で働くようになって2年経ち、町の人々から親しまれ、愛されているデンさん</p>	<p>町の人々に信頼され、親しまれる生活に満足し、幸せを感じている。</p>	<p>・高校に行けずに働くのは不幸だと思ったけど、デンさんは幸せそうだ。 ・みんなのために行動することで、自分自身も幸せになれる。</p>	<p>与えられた環境がどうであれ、その中で自主的に考え、誠実な行動を続けることで周りから感謝され、幸せに生活を送ることができることに気づかせる。</p>	<p>デンさんは今の生活をどのように思っているのだろうか。</p>